



ぼうさい おやまだ

第14号

【発行・問い合わせ先】
小山田地区防災連絡協議会
小山田地区団体事務局
山田町 1373 番地 3
☎・Fax (059) 328-3320

小山田分団 悲願の初優勝!!!



▲競技中の小山田分団

7月16日に行われた
「第54回 四日市市消防団・消防操法競技大会」で
小山田分団が見事優勝を果たしました。



地域の守り主 小山田消防分団の活動

東日本大震災から7年、阪神淡路大震災から23年が過ぎました。

この間にも全国各地で台風・地震・噴火・大雪・大雨・竜巻等の自然災害が規模を大きくして発生し、多大な被害を受けましたが、幸いにも小山田地区には大きな災害はありませんでした。

しかし、この地方では南海トラフ巨大地震の発生が危ぶまれています。

小山田消防分団は、引き続き『自分達の町は自分たちで守る』をコンセプトに活動しています。

快挙! 消防操法競技大会で54年目の初優勝!

平成29年7月16日に四日市市民公園で開催された四日市市消防団消防操法競技大会で悲願の初優勝を勝ち取りました。



消防操法競技

(敬称略)
分団長: 伊藤文夫
小隊長: 田中重樹
1番員: 伊藤正也
2番員: 矢田博之
3番員: 矢田雄基
機関員: 加藤 誠



優勝メンバー

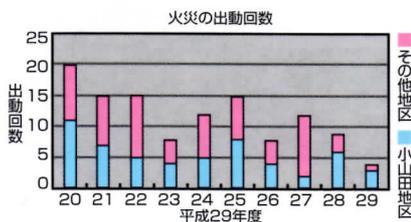
1. 消防分団の活動

(1) 火災発生時の消火活動

平成29年度の火災出動は4件ありました。

小山田地区に関しては民家の焼失および怪我の発生するような大火はありませんでしたが、引き続き油断せず火災予防に努めましょう。

尚、消防分団の出動基準が見直され、29年度からその他地区への出動が見直され削減となりました。



(2) 防災訓練などの住民指導

平成29年度も小山田地区全9町で防災訓練が実施され、小山田消防分団は右の6地区(右記)で協力・指導を行いました。

その内容は火災発生時の消火器及び消火栓から放水の初期消火の必要性に対応したもの、また南海トラフ巨大地震を想定した災害対応の訓練が主体でした。

訓練は参加者全員が、見学ではなく体験してもらうように工夫されており、訓練を重ねるごとに身につけて来たように感じられます。



消防分団が協力・指導した町
9月 2日: 鹿間町
10月 1日: 内山町
11月 12日: 山田町、小山町、堂ヶ山町
1月 14日: 六名町



(3) 火災予防・啓発活動

今年も冬場の火災シーズンには、テレビ、新聞等で火災の逃げ遅れによる犠牲者(高齢者が多い)の報道がされています。

小山田地区は高齢化率が高いので特に注意が必要です。

住宅用火災警報器は、家庭内の火災をいち早くキャッチし、逃げ遅れの犠牲者を減らす切り札です。まだ設置していない家庭があれば早急に設置をお願いします。

住宅用火災警報器は、「いざ」という時にちゃんと作動するか日頃から点検と手入れもお願いします。



住宅用火災警報器の点検



2. 四日市市消防操法競技大会

恒例の四日市市消防分団対抗の消防操法競技大会は、7月16日(日)四日市市民公園で開催されました。ここ数年、小山田分団は選手が若返り、実力が備わってきたと感じられましたが、残念ながら入賞さえも逃す悔しい思いをしてきました。

「今年こそ初優勝」を合言葉に梅雨・真夏の悪条件の中、夜間・休日の猛練習を重ねて来ました。

その結果、今年はノーミスで見事54年目の初優勝の栄冠を得ました。

来年度は「連覇」を目標に頑張りますので更なるご支援をよろしくお願いいたします。



3. 消防出初式

平成30年の四日市市消防出初式は、1月7日(日)に挙行されました。

「消防車の分列行進」「式典」「アトラクション：救急救助訓練・はしご登り演技・幼稚園児の踊り」「消防車・消防艇・防災ヘリの一斉放水訓練」等が行われました。

出初式は田中重樹小隊長と一日消防署長に迎えたクイーン四日市を乗せた先導車で分列行進が始まり、小山田分団車の子ども隊長に伊藤正也団員の長男：大琥君、次男：大翔君が乗車し、森智広四日市市長、坂倉啓史消防長、伊藤忠夫消防団長の観閲を受けました。

式典では右記の小山田分団員が表彰されました。

はしご登り演技では、小山田分団員3名が木遣り隊で参加しました。

クライマックスの防災ヘリ、消防艇、消防車の一斉放水は見事なものでした。

尚、出初式会場のドーム外では消防設備の見学・体験および模擬店も開いており、小さいお子様連れで賑わっていました。

是非一度、四日市ドームの出初式に足を運んで下さい。

見学すれば四日市消防に関する認識を新たにされる事と思います。

(敬称略)	
四日市市長表彰	功労者表彰
(勤続20年以上)	部長 矢田 富教
	班長 矢田 浩通
三重県消防協会長表彰	精勤章
(勤続15年以上)	班長 倉田 貴生
三重県消防協会長表彰	表彰徽章
(勤続5年以上)	団員 伊藤 正也
	団員 後藤 勝壽
四日市市長感謝状	
(退団者)	団員 須藤 卓也



式典での表彰者



消防車の分列行進先導車
(旗手は小山田分団員)



はしご登り演技



分列行進の子ども隊長：伊藤大琥君・大翔君



クライマックスの一斉放水

消防団員の募集

小山田消防分団には、小山田地区在住、または在勤している18歳以上で健康な方であれば入団できます。

男性・女性を問わず消防団員に応募して下さい。
若い元気のある方の入団を待っています。

自分達の町は、
自分達の手で、
しっかり守りま
しょう！





我が町の防災訓練

青山里会防災訓練 平成29年9月1日(金) 小山田地区市民センター及び青山里会

指定避難所の小山田地区市民センターに避難して来たけが人や病人を青山里会に搬送し、手当をする訓練をしました。残暑厳しい中、地域と職員の方、また施設内の老人ホーム入居者の方が参加し、手際よく進められました。



応急手当



問診



血圧測定



車椅子で救急搬送

鹿間町自治会 平成29年9月2日(土)

鹿間町構造改善センター

快晴の炎天下、汗を拭きながら、避難誘導訓練、AED使用訓練、地震体験車による震度7の地震体験訓練を行いました。参加者からは、「今までAEDを体験したことがなかった。消防分団の方の説明がわかりやすく、自分でもできました。」などの感想が聞かれました。



地震体験訓練



地震体験訓練



AED取扱い訓練



避難誘導訓練

西山町自治会 平成29年9月10日(日)

西陵中学校 体育館

西陵中学校体育館で避難所設営訓練を行いました。住民の方々が避難所に集合し、体育館に入り1人あたり一畳分の段ボールを持ち、お互い協力しながら居住空間を設営していました。また、ノートパソコンとプロジェクターを使い情報発信や指示を伝えていました。



避難者情報収集訓練



情報発信訓練



仮設トイレ設置訓練



炊き出し訓練

今年度は小山田地区全9町と福祉避難所になっている青山里会の10か所で防災訓練が行われました。



美里町防災訓練 平成29年9月30日(土)

ヤマギシさん太陽の広場

今年もヤマギシさんと合同で、消火器を使った初期消火訓練、放水訓練、アルファ米を使った炊き出し訓練が行われました。このように企業と地域が一体となる防災訓練は共助の面からとても重要性が高いと思います。



放水訓練



避難誘導訓練



初期消火訓練



炊き出し訓練

内山町防災訓練 平成29年10月1日(日)

内山町第二公会所

小山田消防分団員さんの指導で、AEDを使用した救急救命訓練を行いました。また、初期消火訓練、アルファ米を使った炊き出し訓練を行いました。



AED取扱い訓練



AED取扱い訓練



炊き出し訓練

初期消火訓練

山田町防災訓練 平成29年11月12日(日)

山田町高若センター

消火栓の使用訓練、初期消火訓練、煙体験訓練、アルファ米を利用した炊き出し訓練、AED取扱い応急処置訓練などが行われました。また、今年度は地震体験訓練も行いました。



AED取扱い訓練



地震体験訓練



初期消火訓練



炊き出し訓練

小山町防災訓練 平成29年11月12日(日)

小山町公会所

今年も、さわやかな秋晴れの中の訓練でした。(財)三重県環境保全事業団の職員さんも参加し、初期消火訓練、放水訓練、煙体験訓練、AEDを使った救急救命訓練、地震体験車による訓練を行いました。



煙体験訓練



放水訓練



初期消火講習



地震体験訓練

堂ヶ山町防災訓練 平成29年11月12日(日)

堂ヶ山町構造改善センター

小山田消防分団員の指導のもと、初期消火訓練、煙体験訓練を行いました。また、地震体験車による訓練では、県の防災啓発専門員の丁寧な説明で、子どもたちが「だんごむし」の姿勢で体験しました。



煙体験訓練



初期消火訓練



初期消火訓練



地震体験訓練

和無田町防災訓練 平成29年11月26日(日)

和無田町構造改善センター

自治会長さんの防災講習会があり、子どもたちから高齢の方まで、わかりやすい内容でした。屋外では、消火栓の取扱い訓練、放水訓練などを行いました。



炊き出し訓練



消火栓取扱い訓練



防災講習



放水訓練



六名町防災訓練 平成30年1月14日(日)

六名町集会所

薄っすらと雪が残っている寒い日にもかかわらず、たくさんの方が早朝より訓練に参加しました。初期消火訓練、天ぷら火災の消火訓練、また、今年は地震体験訓練も行いました。



天ぷら火災消火訓練



地震体験訓練



避難誘導訓練



初期消火訓練

私たちの町は、私たちの力で しっかり守りましょう！

昨年7月に九州北部で発生した集中豪雨は、福岡県と大分県を中心に甚大な被害をもたらしました。

小山田地区は4本の河川が流れており、起伏に富んだ地形のため、地盤のもろい地域では、がけ崩れの危険性があります。

また、南海トラフ巨大地震の発生も危惧されており、大地震から家族や地域を守ることの重要性は増大しています。

自分や家族の命を守り、地域の皆さんと助け合う、そのために必要な対策に取り組んでいきましょう。



※国土地理院HPより



※国土地理院HPより

家族や地域の人たちとよく話し合って、 事前に準備しておきましょう!!

今年もテレビ、新聞等で火災の逃げ遅れによる犠牲者（高齢者が多い）の報道がされています。小山田地区は高齢者率が最も高いので特に注意が必要です。「住宅用火災警報器」は、家庭内の火災をいち早くキャッチし、逃げ遅れの犠牲者を減らす切り札です。まだ設置していない家庭では早急に設置しましょう！

火災警報器

家具の固定

避難場所・避難経路の確認

持ち出しグッズの常備

消火器の常備・点検

防災訓練等の参加



小山田地区を『災害に強いまち』にしましょう!!



平成29年度 防災・防火標語の入選作



今年度は総数376作の応募があり、素晴らしい標語を考えて頂きました。たくさんのご応募ありがとうございました。優秀作品のみ掲載しましたのでご了承ください。皆さんの防災の意識を少しでも高めて頂き、防災ゼロの町にするために今後も防災標語による啓発に取り組んでいきます。

「火あそびは やっちゃだめだよ 火じのもと」
「じしん来た まどからはなれ みをまもろう」
「いっしゅんで 幸せ消えちゃう 火のこわさ」
「もしものため 家にあるかな? 防災グッズ」
「津波の災 高い所へ いそいでGO」
「まあいいか そのゆだんから 未来が消える」
「身のまわり 危険、災い ほらいっぱい」
「日頃の 防災訓練 大切に」
「訓練と 日頃の意識で 未来は変わる」
「人ごとじゃない 自分でさがそう できること」
「危険はいつも 目の前にある 他人事じゃない」
「しってる? 自分の地域 避難経路」
「防災は 意識と知識の 助け合い」

林	桃愛さん	小山田小	1年
縄手	舞優さん	小山田小	2年
市川	玲海さん	小山田小	3年
川島	凜さん	小山田小	4年
打田	健晋さん	小山田小	5年
委文	百合愛さん	小山田小	6年
萩村	颯斗さん	西陵中	1年
牧田	姫奈さん	西陵中	1年
黒田	瑞希さん	西陵中	2年
辻	美璃亜さん	西陵中	2年
藤田	愛さん	西陵中	3年
伊東	緋菜さん	西陵中	3年
矢田	善樹さん	一般	

平成29年度 全国統一防火標語 『火の用心 ことばを形に 習慣に』



わが家の非常連絡メモ



緊急連絡先

火事・救急	119
警察	110
災害伝言ダイヤル	171
小山田地区市民センター	328-1001
小山田警察官駐在所	328-1148

病院

総合医療センター	345-2321
市立四日市病院	354-1111

電気

中電四日市営業所	☎ 0120-985-340
中電鈴鹿営業所	☎ 0120-985-342

水道

四日市市上下水道局	354-8360(昼間)
	351-1211(夜間)

AED設置場所

小山田地区市民センター	328-1001
小山田小学校	328-1093
西陵中学校	328-1013

災害伝言ダイヤルの利用方法

※171をダイヤルしたら、音声案内に従って操作するだけです!

伝言を録音するには

※音声案内に従う
171をダイヤル ⇒ 録音は 1 ⇒

伝言を聞くには

※音声案内に従う
171をダイヤル ⇒ 再生は 2 ⇒

音声案内に従って、
録音・再生
連絡をとりたい人の電話番号を
市外局番からダイヤルする。

各家庭・家族の集合場所・家族の連絡先など
